

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 1 区分
 【発行日】平成 27 年 5 月 28 日 (2015.5.28)

【公開番号】特開 2015-75435 (P2015-75435A)
 【公開日】平成 27 年 4 月 20 日 (2015.4.20)
 【年通号数】公開・登録公報 2015-026
 【出願番号】特願 2013-212995 (P2013-212995)
 【国際特許分類】

G 0 1 N 33/48 (2006.01)

【 F I 】

G 0 1 N 33/48 G

【手続補正書】

【提出日】平成 27 年 3 月 3 日 (2015.3.3)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 1】

採便棒を有し、蓋部の内周面に周方向に沿う環状凸部を形成した蓋体と、
 基端側が開口する筒状の容器本体と、
 擦り切り部及び外周面に周方向に沿う環状凸部が形成され、前記容器本体の基端側から
 前記容器本体内に装着される中栓と、
 を備え、
 前記容器本体の基端側の開口端縁に沿ってフランジ部を形成し、前記中栓の外周面の所
 定位置に周方向に沿って前記フランジ部と重なる位置に張り出し部を形成し、
 前記蓋部の下端部及び前記中栓の張り出し部の内周上に離脱機構を形成し、
 前記蓋部の内周面及び前記中栓の外周面のそれぞれに形成された前記環状凸部の上方に
 、前記離脱機構の位置合わせ行うカム機構を形成し、
前記蓋体は、前記中栓に形成した前記環状凸部と、前記蓋部に形成した前記環状凸部と
の嵌合により装着されることを特徴とする採便容器。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 5】

前記蓋体の蓋部に一對の羽根部を対称的に形成すると共に、前記羽根部の下端側に前記
傾斜状溝部を形成し、
前記中栓の張り出し部の長径側内周上に前記傾斜状突起部を形成した請求項 4 に記載の
 採便容器。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 8

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 0 8 】

本発明に係る採便容器は、採便棒を有し、蓋部の内周面に周方向に沿う環状凸部を形成

した蓋体と、基端側が開口する筒状の容器本体と、擦り切り部及び外周面に周方向に沿う環状凸部が形成され、前記容器本体の基端側から前記容器本体内に装着される中栓と、を備え、前記容器本体の基端側の開口端縁に沿ってフランジ部を形成し、前記中栓の外周面の所定位置に周方向に沿って前記フランジ部と重なる位置に張り出し部を形成し、前記蓋部の下端部及び前記中栓の張り出し部の内周上に離脱機構を形成し、前記蓋部の内周面及び前記中栓の外周面のそれぞれに形成された前記環状凸部の上方に、前記離脱機構の位置合わせを行うカム機構を形成し、前記蓋体は、前記中栓に形成した前記環状凸部と、前記蓋部に形成した前記環状凸部との嵌合により装着される構成としてある。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0015

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0015】

採便容器 1 において、蓋体 2 は、中栓 4 の外周面に周方向に沿って形成した環状凸部 4 g と、蓋部 2 a の内周面に周方向に沿って形成した環状凸部 2 f との嵌合により装着されて、容器内を密封するようにしてある。